

令和3年度第4回鹿児島市病院事業経営計画策定推進委員会
(11/30 開催)における委員の主な意見について

◆鹿児島市立病院再整備計画（素案）について

- 1 感染症外来が増築棟の4階にあるが、実際に感染症患者が搬送された場合の動線はどのように考えているのか。各部門を拡充するにあたり、医師やメディカルスタッフの増員は検討しているのか。
- 2 コロナ患者はCTを撮ることが多いが、どのようなルートを検討しているか。
- 3 増築棟の5階に一般病棟が設けられているが、他の病棟との動線はどうなるのか。運営は難しくないか。
- 4 少子化が進む中でMFICUの増床が必要と考える理由は何か。出産年齢の上昇に伴い、ハイリスクの妊婦が増えているのだろうか。

◆第2期鹿児島市経営計画（素案）について

- 1 働き方改革への対応について、医師数の増加などは見込めないのか。医師数等を増やさずして、ワークライフ・バランスを実現しながら時間外勤務を減らしていけるか疑問である。働き方改革の実現が難しい職場の一つが市立病院のような医療機関であることについて市民の理解を得るために、働き方改革についてもう少し詳しく記載できないか。
- 2 男性職員の育児休業の取得について、病院全体として、男性職員が遠慮なく育児休業を取得できる状況なのか。
- 3 市立病院は専門的で高度な入院診療をしっかりと担い、一般外来は他の病院に任せるという棲み分けを行うべき。外来診療は入院診療ほど増えなくても良いと認識しなければ、仕事がどんどん増えて働き方改革の実現が難しくなる。